

地区車座座談会 意見要約

日付	地区	大分類	小分類	発言項目	回答
10/2	下田地区	危機管理	防災対策	旧町内には仮設住宅を建てる場所がない。能登半島地震や南海トラフ地震臨時情報の発表などがあつたが、事前に仮設住宅の設置場所を探しておいた方が良いと思う。設置場所を考えているか。	南海トラフ地震臨時情報の発表時に改めて防災対策を見直し、備えていたつもりだったがまだ足りないと感じた。仮設住宅も含めて課題を洗い直し、取り組んでいきたい。 【防災安全課長】現在のところ、敷根公園や下田中学校など、公園用地や学校用地を考えている。今後、伊豆縦貫自動車道の建設発生土を利用した平地などに場所を確保していきたい。
		都市基盤整備	港湾	沖波防堤の工事に関して、国交省からいつ頃完成予定と聞いているのか。	国交省は計画を作ってやっているため、期間的にいつできるのかというものはあるが、残事業費と毎年いくら予算が出ているのかということ計算すると、とても期間内にはできない。地域の皆さんと力を合わせて要望していきたい。
		危機管理	防災対策	旧下田幼稚園が避難場所となっており、その後敷根公園へ向かって行くが、一旦敷根の青果市場の方に下がらなければならない、津波から逃げて津波の所に戻っていくような形になっている。	【防災安全課長】山が急なこともあり、様々な検討をした中で、現在の所はどうしても今の避難路しかないが、課題であると考えている。
		危機管理	防災対策	公会堂に備蓄品があるが、間違いなく津波でやられてしまう。市の方で大きな倉庫を高台に用意できないか。	【防災安全課長】食料であれば5年1回入れ替えるローリングストックを行っている。当年度買う備蓄品は旧白浜幼稚園に備蓄しているが、そこから各防災倉庫へ分散して順次入れ替えを行っており、認定こども園の防災倉庫などにも保管している。
		危機管理	防災対策	備蓄品は、旧白浜幼稚園に集中されているのではないかとと思うが、実際に災害が発生したときに例えば下田中学校まで持ってくるというのは非常に難しくなる可能性がある。できれば備蓄品の保管を分散する必要があるのではないかとと思う。	
		危機管理	防災対策	避難場所に長楽寺の広場が指定されているが、そこから避難路に行く道が急で危ない。災害時には崩れてしまう恐れがある。	【防災安全課長】災害の規模によっては崩れてしまう可能性はあるが、避難路として有効に活用できるのは現在の避難路しかないため、課題の部分であると認識している。
		自然環境・生活環境	環境保全	広岡川が佐倉医院から消防署まで流れている。川の清掃を毎年行っているが、住民も高齢化しており難航している。市に移管して清掃していただきたい。 また、広岡川に並行して通学路がある。県に言うことかもしれないが、道も狭く、雑草が生えており、ダニなどの危険があるから刈ってほしいと父兄から区に苦情が入る。対応を市で行っていただきたい。	高齢化の関係もあり、自助も共助もとても難しくなっている。公助でやるしかないだろうというふうに思っているが、予算がいろいろところで膨れており、これ以上膨らませることはできない。少ない予算を増やすため、儲けるまちにすることでお金をかけることができるようにしていきたい。 【教育長】イノシシやサルが出た場合の対応等は子どもたちに指導している。子どもの移動経路安全推進会議でも意見を出していただき、対応していきたい。
		自然環境・生活環境	環境保全	自分の家の前の草くらいはと思い、旧下田グランドホテル前の草を刈っていると、「市に任せればいい」という市民もいる。市のお金や人の問題もあり、できることは自分たちでやるべきだと思っているが、5月に国道沿いの雑草の処理を頼んだら6月に行うとの回答だった。今困っていることはすぐ対応すべきである。もっと現場を見てほしいと思う。	【建設課参事】子どもの移動経路については、警察、教員、建設課、防災安全課、教育委員会、下田土木事務所構成する移動経路安全推進会議があり、実際にパトロールして危険箇所を見つけて対処を話し合う場も設け、連携して対応している。
		自然環境・生活環境	環境保全	岩下区の山側の擁壁を今年度途中まで工事しているが、イノシシも現れ、倒木の心配もある。通学路でもあるため、早急に全面工事をしていただきたい。県に要望したが、まずは市を通してくれと言われた。市からも県に要望してほしい。	【産業振興課長】鳥獣対策は罠の設置等、協力いただけるのであれば対応している所であるが、目に見えての成果は出ていない。山と人の住むところの緩衝帯を作り、鳥獣が出にくい環境を作りたい。
		自然環境・生活環境	環境保全	鳥獣被害のある場所は災害の恐れもある。鳥獣と災害の対策を関連して考えた方が良いのではないか。	【企画課長】県への要望に関しては、所管が明らかかなものであれば各担当課に連絡していただき、不明であれば企画課に一旦連絡していただければ関係部署に対応を依頼する。
		都市基盤整備	伊豆縦貫自動車道	国の伊豆縦貫自動車道に対する予算が半分になったということ聞き、ますます遅れていくのではないかと心配している。その辺の現状と市としてどのような対応をしていくのか。	新しい知事になり、知事とともに国交省に要望を行った。伊豆半島の首長が一体となって要望を行っている。 【建設課参事】国交省の予算配分については確認していないが、今後、整備を進めるにあたって、国交省の要望やリクエストに応じて市がどれだけ頑張るのかというのが早期完成につながると思っている。
		都市基盤整備	IC周辺のまちづくり	インター周辺のまちづくりについても発生土の活用を考えていると思うが、建設発生土の利用はどのように考えているのか。	個人的には道の駅を作りたいと思っている。地元からも同様の意見が出ている。道の駅ができれば、いざという時の支援拠点や仮設住宅の用地になる。 【建設課参事】県が中心となって、建設発生土のワーキンググループを立ち上げている。発生土の有効活用の状況など、市町や国・県相互に情報交換できる場が設けられており、参考にしていきたい。
都市基盤整備	IC周辺のまちづくり	建設発生土について、よそに持って行くのではなく、市内で収めた方がよいと思っている。前に聞いた時には2、3か所あるような話であったが、現在はどうなっているのか。	【建設課参事】加増野地区で埋め立てているほか、須原、箕作地内で2箇所、敷根地区の合計5か所を予定している。		
その他	行政事務	あずさ山の家やポーレポーレについて、そのままにしていくのか、活用していく意思があるのか。	【産業振興課長】ポーレポーレは、加増野区に施設を譲渡して、集会施設として活用されている。あずさ山の家は、民間企業の視察など活用の方法を模索してきたところであるが、農村宿泊体験施設としての活用は難しいため、新たな活用に向けて今後、取り組みを進めていく。		
その他	行政事務	グローバルCITYプロジェクトで上智大学と小学生が交流するなど、市は色々な事をやっているが知られていない。広報力が弱いと感じている。 座談会をもっと小さな単位で開催の方が伝わるのではないか。	【企画課長】InstagramやFacebookなどのSNSも活用しているが、市の施策を伝えていくことが必要であり、伝わるような広報をしていきたい。		
10/7	朝日	その他	行政事務	高齢者に対応した（死亡届、相続等を一括で対応する）ワンストップ窓口を新庁舎に設置してはどうか。	現計画ではワンストップ窓口の設置は含まれていないと思う。どの程度反映できるかわからないが検討させていただく。

地区車座座談会 意見要約

日付	地区	大分類	小分類	発言項目	回答
	地区	危機管理	防災対策	市道大山線、山の神線の周辺について、台風等による倒木がたびたび発生している。事後の対応ではなく、事前に倒木の恐れがある木については切る等対応をしてほしい。	財政的に厳しいため、優先順位をたてて対応しているが、早急に対応すべき箇所等あれば御連絡いただきたい。
		危機管理	防災対策	津波から避難するために、田牛や吉佐美の人たちが大賀茂小学校まで避難できるのか。大賀茂小学校までの間に新たな広域避難場所ができれば良いが。	地域ごとに津波の到達予想時間が算出されており、津波の想定される高さや避難すべき場所についてはハザードマップとして配備されている。自分がどこへ避難すべきか把握するために全区に「わたしの避難計画」を配布している。下田市は高齢者も含めてほぼ100%避難が可能になっている。皆さんも一度御自身の避難路を確認していただきたい。
		危機管理	防災対策	安価で効果的な耐震化について、具体的に教えてほしい。	一部屋耐震、ゆりかごのように耐震する等が既存の耐震方法として挙げられるが、市としては、専門家の指導のもと市内の工務店に加わっていただき、試行錯誤していきたい。
		危機管理	防災対策	簡易型の貯水槽の設置について考えているか。	現時点では考えていないが検討したい。
		観光・産業・雇用・移住促進	産業	最近、高齢化や担い手不足から吉佐美地区の耕作放棄地が多くなっている。用水路の整備など農業の担い手が戻ってくるような支援・施策をお願いしたい。	持ち帰って検討させていただく。
		危機管理	交通安全	県道下田南伊豆線が大賀茂小学校の区間を除き、現行の40km規制から50km規制に変更する予定と大賀茂駐在所から連絡があった。生活道路であり、実際に事故も発生していることから規制を緩めるべきではない。	市では規制緩和について、承知していなかった。道路管理者である土木事務所と交通管理者である警察で小学校の区間については40km規制のままという配慮をした上で決定したことだと思う。
		自然環境・生活環境	広域ごみ処理施設	1市3町で建設を予定している広域ごみ処理施設において、ごみの分別はすべて下田市が行うのか。	ごみの分別を各家庭で徹底して行っていただく予定。
		子育て・教育	学校教育	田牛に住む小学生は現在、1人しかいない。30年前から子どもの数はどの程度減少しているのか。	【教育長】現在の下田中学校の生徒数が450人程度、30年ほど前だと下田中学校だけで500人を超えており、下田東中学校、稲生沢中学校、稲中中学校を合わせると800~900人であり、今はその半分程度となっている。朝日小学校は現在70人程度であるが、30年ほど前は130~140人であり、こちらも半減している。下田中学校の現在の各学年生徒数が110~120人程度であるが、今年の出生数が66人と聞いている。
		その他	人口減少	人口減少に歯止めをかけるまちの将来像があれば教えてほしい。	日本における出生率の減少は戦後復興の一時を除いて100年前から始まっている。働く場所を選ばないICT産業等の新たな産業を誘致することで子どもたちが戻って来られる環境をつくっていききたいと考えている。旧市街地のシャッター街も令和4年度に始めた空き店舗等活用事業補助金を活用した出店が進んでおり、令和4年度に5件、令和5年度には10件、令和6年度現在は20件の申請がされており、まちに新たな活気が生まれている。
		その他	広報・広聴	参加者が65歳以上の方がほとんどだと思われるが、なぜ40歳未満の人たちを呼ばないのか。これから担っていく若者の意見をもっと聞くべきではないか。課題として持ち帰って考えてほしい。	今回の市政懇談会では、昨年度の反省を踏まえ、昼間やテーマ別、回数増加での開催を予定している。
		その他	広報・広聴	近隣や知人に参加を呼び掛けたが、参加しない。もっと広報等で効果的に周知するべきだと思う。	
10/8	稲生沢地区	その他	行政事務	市の運営について、どれだけの金額がかかって、市にどれだけのお金があるのかということは周知をしているのか。	広報しもだに毎年円グラフを出している。それ以外にも主な事業と期間、事業費を出している。
		その他	新庁舎建設	庁舎の跡地について一切話が来ていないが、どうなっているのか。	東本郷庁舎跡地には交流拠点が必要と考えており、国内と国外、高齢者と若者、観光客と下田市民といった交流施設を方向性として検討している。
		その他	広報・広聴	今までの施策は決まった後に市から知らされていた。市民にもっと情報を公開して、意見を聞いた方がいいのではないか。	貴重なご意見としてこれから反映していきたい。
		自然環境・生活環境	環境保全	稲生沢川の清流荘の上からダムまで川に木が生えている。そのままにすれば水かさが増して倒れた時に大変なことになってしまう。少しずつでも工事をしてほしい。	危険なところから切っていると思うが、追い付いていないのが現状だと思われる。土木事務所には住民から意見が出たと伝える。
		危機管理	防災対策	集中豪雨の中、避難することは無理だと思う。レベル3（高齢者等避難）程度でも逃げるように奨励していくべきではないか。	現在は気象の観測レベルが高まっているため、なるべく早い段階（雨が降る前、暗くなる前）に出そうとしている。下田市は比較的早めに出している方であり、これは防災安全課との議論や、県にも情報を聞いて、早めの避難を心掛けている。これからも気を引き締めて事前の避難を呼びかけていきたいと思っている。
		危機管理	防災対策	水害、地震、土砂災害などの災害が頻繁に起こっている。単に下田市だけの問題と捉えずに、伊豆地域全体で協力して、広域的な対策をすることを知事や国に要請してほしい。	伊豆半島の7市6町の首長会議で防災のワーキングを立ち上げる予定である。そこで広域的な防災をやるから支援してほしいと県に要望する予定。
		共生社会	コミュニティ	区の役員を引き受けてくれる人がおらず、来年度は区長がいなくなることも予想される。市はどのように考えているのか。	【企画課長】どこの地区においても同様の声をいただいている。全国的な問題であるため、様々な自治体の調査などを行っているが、決定打がない状況。業務の軽減などささやかな所は進めているが、直接的な問題の解決には至っていない。引き続き、先進事例を調べて進めていきたいと思っている。

地区車座座談会 意見要約

日付	地区	大分類	小分類	発言項目	回答
		自然環境・生活環境	公園	旧下田グランドホテルについて、基本構想はどの程度進んでいるのか。	【建設課長】現在、基本構想を策定中である。災害時に活用ができるよう、解体後は防災公園（一時避難所）としての活用を予定しており、それによって、春日山遊歩道などを活用して指定避難所に逃げられるようにしたいと考えている。
		自然環境・生活環境	公園	旧下田グランドホテルの有害物質（アスベスト・PCB）はどのような状況なのか。	【建設課長】含有量調査のため、9月議会に補正予算として計上し、承認された。
		その他	新庁舎建設	新庁舎建設について、当初5億8,000万円だったと記憶しているが、現在は7億円程度に増えたと思っている。増額理由を教えてください。	当初の金額を現在の物価高で時点修正すると、高額になってしまいます。そのことを踏まえた上で考え、相当なコストカットになっていると思われる。具体的にいくらになるのかは、しっかりと計算し、市民に公開したいと思っている。 【企画課長】当初は一棟集約型の庁舎を建築する予定で、約37億円と予定されていた。その後、設計を変更して校舎や体育館を活用する3棟構成（校舎活用棟、体育館棟、新築棟）で現在建築を進めているところ。 個別の工事によって多少の増減はあるが、総額として当初目標の約37億円に収めるように進めている。
		その他	行政事務	人口が年間約400名ずつ減少しており、税収も伴って減少していくことが予想される。その点についてどのように考えているか。	非常に難しい問題だと思っている。コストカットをすると夢も未来も無くなってしまいます。造らなければいけないものは造らないといけない。お金については増やすしかないと思っているが、その手法については様々な自治体等を分析しているところ。 【財務課長】時に立ちどまり、時には考え直し、常に考えながらやってきている。今後も多くの方々の意見を聞きながら進めていきたいと思っている。
		自然環境・生活環境	公園	伊豆縦貫自動車道の関係で、立野公園に仮設道路を作りたいと話があり、工期の8年間、公園が使用できないと聞いた。公園ではグランドゴルフなどを楽しんでいる方もいるため、公園が使えるように仮設道路をどうにかできないかと区として要望したが、市としても働きかけをしていただきたい。	市民からの切実な要望としてしっかりと伝えたいと思う。 【建設課長】業者のやり方によっては進入路の扱いが変わる。また、使用できない場合として代替がないか考えている。新たな展開があった場合は情報共有をさせていただく。
		子育て・教育	学校教育	お年寄りと子どもの交流として、稲生沢小学校のグラウンドを使用してグランドゴルフをやってはどうか。	【教育長】グラウンドを使用するということになる、体育もあるため、校長先生と相談をする必要がある。十分に可能な話だと思うが、学校の教育課程もあるため、断られる可能性もある。個人的にはそういうことを非常に大事にしたいと考えているため、是非、小学校や教育委員会に話を持ってきてほしい。
10/11	稲梓地区	その他	行政事務	秋祭り前に市道草刈りをしていた際、草刈り機の刃で怪我をした。市の環境対策課に問い合わせたところ、なかなかいい返事がなかった。よくよく聞いてみるとどのような怪我でも1通院につき3,000円しかでないとのこと。保障の内容を改善するか、内容の詳細についてしっかりと区長連絡協議会等で説明する等対応してほしい。	持ち帰って検討させていただく。 【企画課長】年度当初の区長連絡協議会においては、保障があることしか伝えていなかった。保障内容を確認した上で、来年度の同会において詳細を説明させていただく。保障内容の充実についても検討させていただく。
		都市基盤整備	IC周辺のまちづくり	6～7年前から上原美術館の向かい側に公園整備を予定していると思うが、昨年度に要望していた用水の付け替えてボックスカルバートにするとの説明があり、その際に従前の設計（補強土壁から法面）からかなり縮小され、上の面積が小さくなったとのことであった。用水のボックスカルバートが埋まっている場所は軟弱地盤であり、さらに建設発生土を使ってそこを盛土すれば液状化の問題が発生する。市の公文書開示で地質調査結果と安定検査の計算書を見たところ、盛土法の改正がされる以前の令和4年の調査のため、極めて不安定な設計になっていることが分かった。公園整備等を予定している中で、市は責任をもって軟弱地盤対策、液状化対策をするのか。	持ち帰って検討させていただく。 【建設課参事】（仮称）箕作広場についても実施設計の中で注意しながら整備を進めていきたい。
		都市基盤整備	IC周辺のまちづくり	去年9月に建設課主催で基幹集落センターにおいて建設発生土関係の意見交換会があったが、駐車場台数も51台から27台に縮小、平場の面積が7,000平米から4,000平米に変更となった旨の説明を受けた。用地買収の進捗状況について教えてください。	【建設課参事】箕作広場の底地は農振農用地が約8割を占めている。農振農用地の除外をしなければ、所有権移譲などの次のステップに進めないことから賀茂農林事務所とともに農振除外を進めている。多少の遅れはあるものの、12月頃には農振除外ができると聞いている。農振除外が完了した後、売買契約を結ぶこととなる。
		危機管理	防災対策	旧稲梓中学校体育館の今後の用途について教えてください。広域避難所を稲梓小学校のみにするのはなく、稲梓地区の想定避難者の数も踏まえ、旧中学校体育館も残してほしい。	【防災安全課長】長期避難時に要する1人当たり3.3平米（1坪）として考えると、旧稲梓中学校体育館には240名程度を収容できることになっている。また、稲梓小学校には130程度、基幹集落センターには150名程度が可能となっており、3施設合わせて500～600名程度の収容を考えている。 【企画課長】中学校を閉校した後、校舎を解体し体育館とグラウンドが残っている状態である。体育館は現在、社会体育施設の指定を外しているが、一般への貸出しはしていない。稲梓地区全体の公共施設の活用について検討を進めており、時間を要しているが、すぐに解体するのではなく、何らかのかたちで使う方向で調整していきたい。
		その他	行政事務	中学校体育館の活用についてどのくらいの期間で検討するのか。全体の計画はあるのか。	【企画課長】明確に何年という区切りはできないが、ドローンや防災施設としての活用等、2～3年で方針を決定して必要な整備等を行なうようになると思っている。

地区車座座談会 意見要約

日付	地区	大分類	小分類	発言項目	回答
		危機管理	防災対策	「避難所運営マニュアル」が平成30年頃より県から出されており、HP公開にも公開されているが、一般の方が日常でそれを見る機会というのではないと思う。広域避難所を設置しなければならない大規模地震の発生時には、基本的には自治体の組織を中心とした避難所運営マニュアルに則った避難所運営をしなければならないと思う。全広域避難所に避難所運営の際の組織表をパネルに埋め込んで多くの人が目を充てられるようにしておけば有事に早期の対応ができるのではないか。	共助が一層求められる中で、大変素晴らしい意見だと思う。「わたしの避難計画」を各戸配布しており、発災時の避難場所、家族との連絡方法等を各自で記入して家族が目にする場所に貼ってもらうようにしている。しかし、あまり市民の皆さんはやられていないと思う。
		危機管理	防災対策	「わたしの避難計画」はあまりにも単純すぎる。避難所運営を考えるのであれば、自分たちの地域だけでなく、様々なバリエーションで考えた避難計画、組織表が欲しい。	稲梓地域ではあまりピンと来ないかもしれないが、「わたしの避難計画」では、沿岸部に住む方々に津波がいつまでに到達するか確認してもらうことが大きい。
		危機管理	防災対策	広域避難所を開設する際には、耐震診断士の審査を受けてから開設することになると思うが、市内在住の耐震診断士の数やその方たちがどこの診断を行うのか等を区長や地域住民にも情報共有してほしい。	広域避難所に指定されている施設については当然耐震性能を有している。 【防災安全課】耐震診断士には構造力学を専門とする建築士に依頼することになっており、下田の建築士会、広域では賀茂建築士会、静岡県建築士会等に依頼することになる。この場で何人、どこから来るかお答えできかねるが、いずれにしても広域的に診断をすることになると思う。
		都市基盤整備	IC周辺のまちづくり	IC周辺のまちづくりについて、令和5年度に稲梓地区活性化基本計画が策定されたその後の経過について教えてほしい。	この地域の将来計画として、ICという拠点性を生かしてどのようにまちづくりを進めていけばいいか多角的に地元の方々と一緒に考えている段階である。 【企画課長】人口減少や地域産業の低迷が続く中で、伊豆縦貫自動車道や市内公共施設の有効活用が検討される中で稲梓地域の1つの大きな方向性を示そうということで、令和5年に地元の方々と都市計画等の有識者にも参加していただきながら計画をまとめた。
		都市基盤整備	IC周辺のまちづくり	令和6年度に稲梓地区まちづくり協議会が立ち上げられたが、その活動状況について教えてほしい。	今年度、まちづくり協議会を立ち上げて、現段階での開催は初回の立上げ会合のみとなっている。「IC周辺のまちづくり」、「花木の里」、「温泉と健康」、「農業・林業」の活用という4本の柱で組織の核ができて活動を始めたばかりではあるが、稲梓には様々な活動をされている方がいらっしゃるの、そのような方にも参加していただきながら考え行動し、それが延いては産業等につながれば良いと考えている。
		都市基盤整備	IC周辺のまちづくり	箕作交差点の渋滞解消について、静岡県立文化芸術大学の先生からラウンドアバウトにするのが良いのではないかと提案があった。渋滞解消や話題性もあることから非常に良い提案だと思う。構想されている道の駅等の出入口についてもラウンドアバウトの整備を併せて検討してほしい。	ラウンドアバウトは、信号機を要しないことから災害時にも高い自律性がある。このことは、周辺に建設を予定している防災拠点機能を併せ持つ道の駅の機能を高めることにもなると思う。
		観光・産業・雇用・移住促進	観光	若い世代から意見を吸い上げる取組を考えるべき。海だけでなく山や文化を生かした観光等、新しいアイデアをどんどん出してくれると思う。	新しい観光については、現在アイデア出しの最中である。皆さんからも新しい観光について御提案いただきたい。 【教育長】先日、朝日小学校においてウミガメについて学ぶ機会があった。昨今のウミガメの減少には海の環境悪化が原因の1つとされており、環境悪化の発端に目を向けると山や川につながっている。今、環境について子どもたちは目を向けているので、全体を見てきたいと思う。
		観光・産業・雇用・移住促進	観光	本年度、黒船祭のイベントには含まれていないが、これまで2日目に使われていなかった海遊公園のステージを利用して「開国てづくり市」を開催した。来年度以降は、開国てづくり市を黒船祭のイベントに組み込んでほしい。	持ち帰って検討させていただく。
10/16	白浜地区	観光・産業・雇用・移住促進	産業	漁港の有効活用による地域産業の活性化のため、板見漁港の開放をお願いしたい。現在施設されており、板見漁港に一般人の立ち入りは一切できない。経緯はバナナポート等の事業者の立ち入りを防ぐためなら夏場だけでいいのではないか。船主会からは密漁者排除のためと聞いている。それだけは封鎖の理由にならない、少なくとも夏場以外は開放してほしい。漁業に影響を与えない範囲で開放することも可能であると考え、様子を見ながら段階的な開放をお願いしたい。	板見漁港の問題については、バナナポート、密漁等の複合的な問題と聞いている。 【副市長】私がかつて担当していた頃は、板見漁港は施設されていなかったが、いつからかバナナポート、密漁、違法駐車、ゴミ等の問題があり施設したと聞いている。夏場以外の漁港の開放については、漁業関係者とも協議をする必要があることから、まずは庁内で本件について方針を決めていきたい。
		観光・産業・雇用・移住促進	観光	西伊豆町仁科漁港の事例を参考に下田市においても海釣り公園の設置を検討してほしい。	【副市長】どこの防波堤についても、釣りは禁止していただかないかと思われる。転落事故があるため、立ち入り禁止にしている場所はあるが、海釣り公園となると料金を徴収するかたちになるので慎重に検討していきたい。
		子育て・教育	学校教育	世界的に海の教育を推奨する動きがあるが、下田市ではどのような教育を実行しようとしているのか。都会の子どもたちは学校にプールがあるため、水泳が得意な子が多いが、下田は海が身近にあるのに学校教育の中で海に触れる機会が少なく、プールの利用についても数根で半日泳ぐだけである。現時点では自然の恩恵を受けて育つことができるような安全教育にはなっていないと感じる。	グローバルの中でも下田市の環境についても考えようと、上智大学との連携により、外来種の調査やごみを回収して環境について考える、など教育プログラムも行っている。 【教育長】海の教育となると様々な視点がある、きれいな海を感じる、守る、怖さを知るなど、豊かな自然環境を背景に生徒たちは総合的な学習の時間や道徳等で積極的に学んでいる。また、海上保安部の協力のもと夏前に海難事故防止のための教育も実施している。
		子育て・教育	子育て支援	白井病院の産婦人科がなくなり、今後は順天堂で対応すると聞いているが市は把握しているか。市の方で病院に対して補助は考えているか。	市でも承知している。少子化の中で、生まれてくる子どもが少ないため、病院の経営が成り立たない。これまで賀茂地域で産婦人科は下田のみであったが管外医療機関に行く人も多く、市の補助を入れるにしても採算が取れず経営が難しい。本件については県の指導を受け、また管内医療機関とも協議をしながら検討していきたい。

地区車座座談会 意見要約

日付	地区	大分類	小分類	発言項目	回答
		観光・産業・雇用・移住促進	観光	板戸プールの柵が数カ月前から塩害で倒れている。ロープ等で対応してほしい。	【観光交流課長】要望を受け、業者に依頼してポールとロープの簡易的な形で、できるだけ早く対応する予定。
		観光・産業・雇用・移住促進	観光	去年あたりから白浜の客層が変わってきているが、全体の客数は予想以上に減少している、オフシーズンにも誘客に効果のある景観整備についても市の支援をお願いしたい。	市では新たな観光として、オフシーズンを含めた（通年型）の観光について検討している、皆さんから積極的に御意見を伺いたい。
		観光・産業・雇用・移住促進	観光	新しい観光について、市と宿泊業者で意見を十分共有できていないのではないか。観光と住民の生活の両立、オーバーツーリズムを防ぎ、質の高い観光（量より質）、オフシーズンも入れた分散型の観光をすることが必要である。データ分析（DMO）に基づいた納得のいく観光戦略をお願いしたい。	観光客が減少している中でも消費額を増やしたり、付加価値を高める様々な方法があると思う。皆さんから御意見を伺いたい。
		観光・産業・雇用・移住促進	観光	東京方面の観光客が白浜を初めて目にするのは板戸の龍宮島を中心とした風景、その磯場が去年の1月10日から全面閉鎖され、立ち入れない。観光立市である下田でいかがなものか。	この問題については実際に見て承知している。様々な利害が絡む難しい問題ではあるが、解決に向けて力を尽くしていきたいと考えている。
10/17	浜崎地区	自然環境・生活環境	空き家対策	旧下田富士屋ホテルについて、火災や外壁が崩れてきたこともあった。景観も損なっており、周辺住民に危険性もある。特定空き家に指定して行政が積極的に介入することはできないのか。	【副市長】空き家対策協議会に旧下田富士屋ホテルが議題として上がる予定。特定空き家になったとしても、行政代執行を行うには日数を要するが、着実に進めている。
		危機管理	防災対策	耐震化について、下田市でも今後施策を打っていくのか。	その予定である。今後、シンポジウムも行われ、安価な耐震化を進めている先生が講演を行う。
		観光・産業・雇用・移住促進	産業	夜の12時くらいにはタクシーがなくなってしまい、お客さんが市内で飲むことができない。又、釣り船などの朝が早いときにも対応ができない。娘が市外の高校に通っており、朝早い電車に乗らなければならないが、タクシーを予約することもできない。	コロナ禍により大人数で飲み食いすることがなくなり、かなりの数のドライバーがいなくなった。コロナ禍が落ち着いても慣習的に飲みに行かなくなり、需要がなくなってきているという悪循環に陥っている。下田市は高齢者も多く、病院の需要が高い。様々な手段を模索し、問題に対してチャレンジしていきたい。
		子育て・教育	子育て支援	通学の交通費支給に対して、下田市でも考えていただきたい。	【教育長】高校は義務教育とは違う側面もある。他市町の事例を参考にしながら試算をしている。即答はできないが、検討はしている。
		自然環境・生活環境	環境保全	柿崎の海岸にごみが漂着し、堆積して草が生えてしまっている。市役所や土木事務所も入っている漂着物検討委員会というものがあるが、ここ4年開催されていない。市役所から土木事務所に働きかけて、せめて年に1回開催してほしい。	【副市長】例年開催されているものだと認識していた。ごみの処理方法についてもフローチャートができていたはず。環境対策課や県に早急に確認し、再開されるよう働きかける。
		観光・産業・雇用・移住促進	産業	10/19日に花火が上がると思うが、伊勢エビの巣近くのため漁が半分以下になっている。もう少し遠くに移動できないか。	市の管轄ではないと思う。持ち帰らせてほしい。
		その他	行政事務	公用車の車検切れ問題等について、担当者だけではなく、上司の管理が足りないのではないかと。PDCAサイクルに注意して仕事を行ってほしい。	基本はPDCA、行政はチェックとアクションが弱いと感じる。ミスをしたときに早く気づくことも重要。 （副市長）二度とこのようなことがないように徹底と、全車両に対して車検の確認を行った。
		その他	行政事務	市議会を傍聴させてもらったが、携帯が鳴った時に注意もしないことに驚いた。市議会は携帯の持ち込みはOKなのか。	【江田副議長】ルールの中では持ち込み可であるが、電源は切るようになっている。意見が出たことを議長にも報告し、再発防止に努めていく。
		その他	行政事務	市民は市長の4年間に期待していると思う。どのようなビジョンで成果を訴えてくれるのか。	少子高齢化社会となっており、婚姻率が非常に低い。結婚しない「非婚」が急激に増えており、4年後に上向きにすることはできないと考えると、縮小型の社会にしていく必要がある。コンパクトシティという言葉があるが、何をどうコンパクトにしていくのかを検討していく。
		共生社会	コミュニティ	隣組から離脱する人が多い。市としてどのような考えをお持ちか。	【企画課長】各地区でも同様の意見も出ている。地区ができないことを市がサポートするような形にはなると思うが、なかなか妙案がないのが現状。転入されてきた人への区加入促進のチラシの配布などを行っている。